



たかまる けいいち
高丸 圭一

職名・職位 教授

担当科目 情報社会とAI, 情報システム論,
データ分析技術, データベース概論,
データサイエンス入門

学位 2012年3月博士(応用言語学)(明海大学)
2000年3月修士(工学)(北海道大学)
1998年3月学士(工学)(北海道大学)

研究分野 情報学フロンティア, 人間情報学, 言語学

研究キーワード 情報資源の構築・管理, 自然言語処理, 社会言語学, 音声学, 方言

研究業績

著書	2022年 3月	木村泰知編『自治体DX推進とオープンデータの活用』「第5章 オープンデータとしての地方議会会議録」「第7章 地方議会会議録コーパスの研究利用」日本経済評論社, ISBN 978-4818826052. 共著
	2018年 5月	小林隆編『感性の方言学』「第6章 地方議会におけるオノマトペの使用分布」ひつじ書房, ISBN 978-4894768987. 共著
論文	2025年 2月	「母親向け情報サイトの検索クエリに含まれるオノマトペ共起語のクラスタリング分析」『知能と情報』37(1), pp.515-519. 共著
	2024年 5月	「Masking Explicit Pro-Con Expressions for Development of a Stance Classification Dataset on Assembly Minutes」『Proc. of the Second Workshop on Natural Language Processing for Political Sciences』 pp.33-38. 共著
	2024年 4月	「説明可能なAI技術を用いた国会会議録と地方議会会議録の特徴比較」『シティライフ学研究』25, pp.75-87. 共著
	2023年12月	「XAI技術を用いた大規模言語資源の特徴可視化の試み」『計量国語学』34(3), pp.174-187. 共著
	2023年 8月	「BERTベース分類器とSHAPを用いた地方議会議員の議会発言における特徴分析」『知能と情報』35(3), pp.700-705. 共著
	2023年 7月	「地方議会会議録における探索的方言調査の試み-機械学習とXAI 技術による方言研究-」『方言の研究』9, pp.27-51. 共著
	2020年 5月	「Extraction of the Argument Structure of Tokyo Metropolitan Assembly Minutes: Segmentation of Question-and-Answer Sets」『Proc. of The 12th Language Resources and Evaluation Conference』 pp.2064-2068. 共著
	2019年 4月	「BERTによる周辺文脈を考慮したオノマトペの語義分類手法の提案」『知能と情報』32(1), 518-522. 共著
	2019年 4月	「対数尤度比と政治語彙度を用いた議員の議会活動の可視化」『知能と情報』31(2), 662-671. 共著
	2018年 8月	「Web-based system for Japanese local political documents」『International Journal of Web Information Systems』14(3), pp.357-371. 共著
	2018年 5月	「Speaker Identification for Japanese Prefectural Assembly Minutes」『Proc. of the 13th Workshop on Asian Language Resources』 pp.9-14. 共著

論文は上記を含め計50件

社会的活動

2025年 4月	科学研究費助成事業基盤研究(C) 25K04045 「説明可能なAI技術による大規模言語資源の特徴可視化手法の研究」 研究代表者
2024年 4月	科学研究費助成事業基盤研究(C) 24K15196 「産前産後のストレス低減を目的としたオンラインコミュニティへの子育て投稿の質的分析」 研究分担者
2023年10月	消費生活講演会「デジタル社会の進展と消費者の暮らし～進化を続ける人工知能と共に存するために～」宇都宮市消費生活センター

略歴

1998年 3月	北海道大学工学部電子工学科卒業
2000年 3月	北海道大学大学院工学研究科電子情報工学専攻修士課程修了
2004年 3月	北海道大学大学院工学研究科電子情報工学専攻博士後期課程単位修得退学
2012年 3月	明海大学大学院応用言語学研究科博士後期課程修了
2004年 4月	那須大学都市経済学部専任講師（2006年3月まで）
2006年 4月	宇都宮共和国大学シティライフ学部専任講師（2013年3月まで）
2013年 4月	宇都宮共和国大学シティライフ学部准教授（2018年3月まで）
2018年 4月	宇都宮共和国大学シティライフ学部教授（現在に至る）

所属学会

電子情報通信学会, 人工知能学会, 言語処理学会, 情報処理学会, 日本語学会, 社会言語科学会, 日本音声学会, 日本方言研究会

学生・社会へのメッセージ

データサイエンスや人工知能技術の基礎知識や活用方法を修得し, 高度なデジタル化が進む現代社会において都市の生活・経済・まちづくりの専門知識を活かすことのできる人材を育成します。